② 操作ガイド

VideoWave® III

entertainment system

安全上の留意項目

VideoWave® III entertainment systemをお使いになる前に、①設置ガイドの「安全上の留意事項」をご確認ください。システムを正しく安全に操作するために役立ちます。

控えとして、製品のシリアル番号を下の欄にご記入ください。

コンソールのシリアル番号(本体底面に記載): ______________________

モニターのシリアル番号(コネクターカバーに記載): ______________________

購入日: ______________________

このガイドとともに、ご購入時の領収証と保証書を保管することをおすすめします。

目次

目次

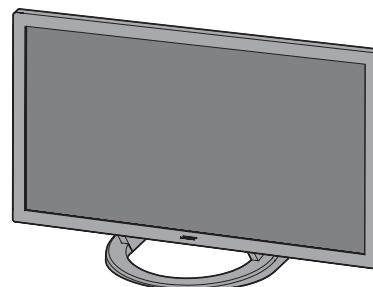
お買い上げありがとうございます

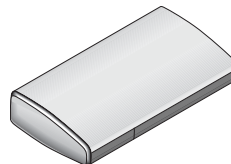
Bose® VideoWave® IIIエンターテイメントシステムをお買い上げいただきありがとうございます。

この製品をお使いいただく前に、システムを正しくセットアップし、自動音場補正システムADAPTiQ®を利用して、お部屋のリスニング環境を調整してください。詳細については、別冊の「①設置ガイド」をご覧ください。システムに接続する機器を追加する場合は、このガイドの「システム設定の変更」(28ページ)を参照してください。

このガイドでは、リモコンの機能とシステムの操作方法についてご説明いたします。

製品について

VideoWave® III entertainment systemは、HD モニターを搭載し、コンソールとリモコンを装備したシステムです。

スタンド付きモニター

Boseクリックパッドリモコン

コンソール

注意: iPodまたはiPhoneの音楽を再生するには、別途、ボーズから30ピンドックをお求めください。

システムについて

VideoWave® entertainment systemでは、CATVチューナーやBlu-ray Disc™ DVDプレーヤー、iPodやiPhoneなどの外部機器をユニークな方法で操作できます(iPodやiPhoneを操作するには、別途、ボーズからiPod/iPhone用のドックをお求めください)。すべての操作は、従来の汎用リモコンよりもはるかに使い易くなったリモコン1台だけで行うことができます。

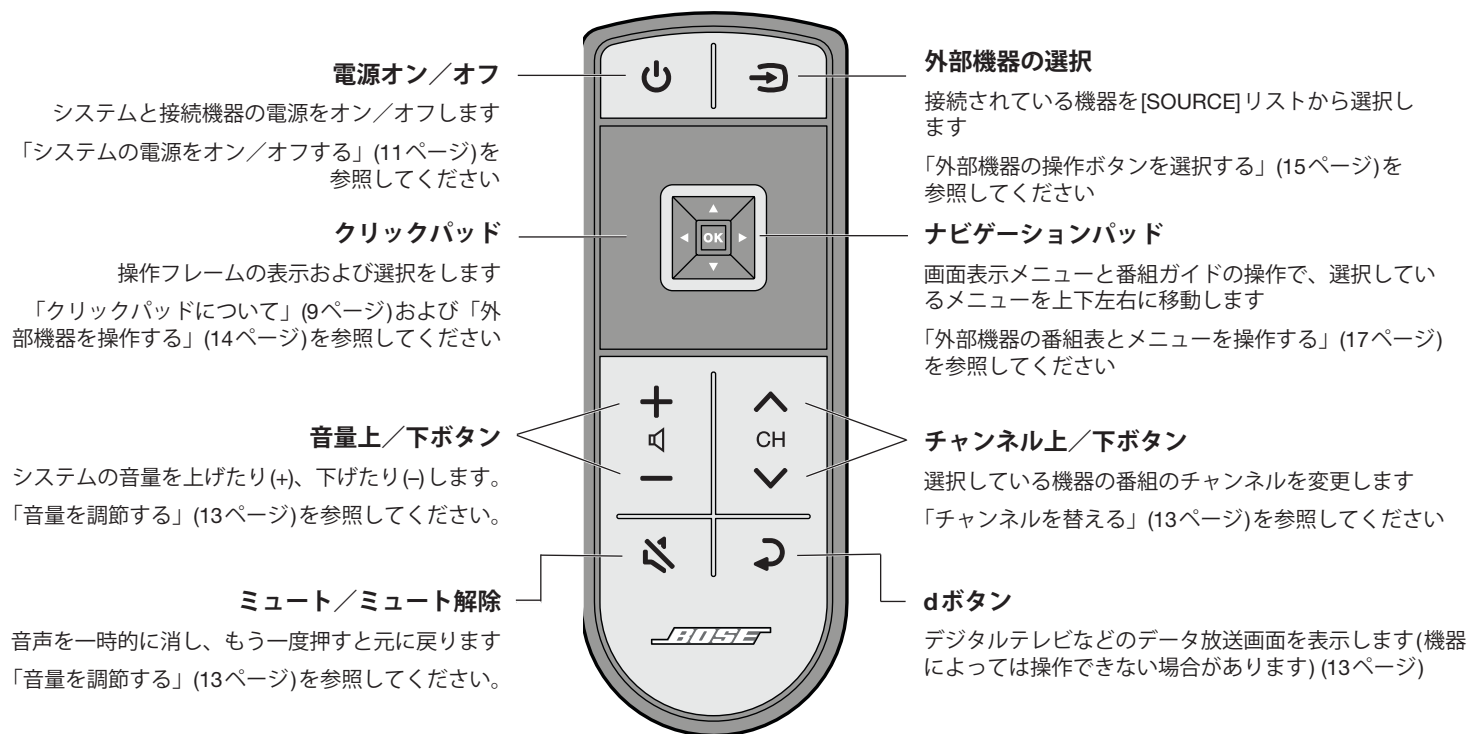
クリックパッドリモコンには、システムの基本的な操作に必要なボタンだけが付いています。接続された機器専用の操作ボタンは画面上に表示され、リモコンのクリックパッドを使用して操作できます。操作ボタンを選択するには、親指でクリックパッドにタッチし、使用する機能(ボタン)までスライドして、そのままクリックパッドを押します。

この操作方法は非常にユニークなもので、最初は慣れるまでに少し時間が必要かもしれませんが、使いこなすにつれて便利な操作方法であることを実感していただけます。

- **シンプルなリモコン操作**。リモコンにあるのはもっとも基本的な操作ボタンだけで、どなたでも簡単にシステムを操作できます。

- **必要な操作だけが画面に表示されます**。例えばCATVチューナーを使用してテレビ番組を見る場合、クリックパッドにタッチすると、CATVチューナーの操作に必要なボタンだけが画面上の操作フレームに表示されます。また、DVDを見る場合は、DVDプレーヤーの操作に必要なボタンだけが表示されます。

- **画面だけを見て操作できます**。ボタンを押す場合は、リモコンを見て操作するのではなく、クリックパッド上で親指を動かして画面上でハイライト表示されているボタンを移動して、選択します。すべての操作は画面を見ながら行えます。

Bose®クリックパッドリモコンについて

電源オン／オフ

システムと接続機器の電源をオン／オフします

「システムの電源をオン／オフする」(11ページ)を参照してください

クリックパッド

操作フレームの表示および選択をします

「クリックパッドについて」(9ページ)および「外部機器を操作する」(14ページ)を参照してください

音量上／下ボタン

システムの音量を上げたり(+)、下げたり(–)します。

「音量を調節する」(13ページ)を参照してください。

ミュート／ミュート解除

音声を一時的に消し、もう一度押すと元に戻ります

「音量を調節する」(13ページ)を参照してください。

外部機器の選択

接続されている機器を[SOURCE]リストから選択します

「外部機器の操作ボタンを選択する」(15ページ)を参照してください

ナビゲーションパッド

画面表示メニューと番組ガイドの操作で、選択しているメニューを上下左右に移動します

「外部機器の番組表とメニューを操作する」(17ページ)を参照してください

チャンネル上／下ボタン

選択している機器の番組のチャンネルを変更します

「チャンネルを替える」(13ページ)を参照してください

dボタン

デジタルテレビなどのデータ放送画面を表示します(機器によっては操作できない場合があります) (13ページ)

操作フレームについて

操作フレームには、選択している外部機器で使用する機能またはボタンが表示されます。外部機器に付属するリモコンのボタン操作が、この操作フレームから実行できます。

* これらの機能の操作方法については、選択した外部機器に付属する取扱説明書を参照してください。

注意： 操作フレームの表示内容は外部機器ごとに変更できます「操作フレームをカスタマイズする」(29ページ)をご参照ください。

クリックパッドについて

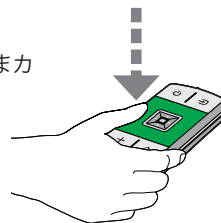
1
タッチ

クリックパッドに親指でタッチすると、
操作フレームが表示されます。

2
スライド

クリックパッド上で親指をスライドさせ、
使いたいボタンを選びます。

3
クリック

使いたいボタンを選んだら、そのままカ
チッと音がするまで押します。

システムのアップデート

Unify®テクノロジーは、操作システムに統一基準のない外部機器を操作するという難題に取り組むため、当社の技術とノウハウの粋を集めて設計されたシステムです。いくつもの複雑なリモコンを使用するより、はるかに使い易いシステムとしてお客様にご利用いただけるものと確信しております。

しかし、標準的な仕様ではない独自仕様のリモコンが付属する機器を新しく購入された場合などでは、システムが認識できない場合があります。そのような時、システムソフトウェアのアップデートにより、操作が可能となる場合があります。システムのアップデート手順は簡単です。また、アップデート用ソフトウェアはボーズ社より無償で提供いたします。詳しくは、「システムのアップデートを実行する」(33ページ)をご参照ください。

製品のユーザー登録のお願い

製品をご登録いただきますと、システムを常に最適なパフォーマンスに保つためのソフトウェアアップデートに関する情報をお知らせいたします。

登録の手順につきましては、製品登録カードをご参照ください。製品を登録されない場合でも、保証の内容やシステムソフトウェアのアップデートに関する権利に変更はありません。

システムの電源をオン／オフする

システムの電源をオフにするには、リモコンの電源ボタン ⏻ を押します。システムが起動すると、CATVやBS/CSチューナーなどの電源も自動的にオンになります。

コンソールとモニターのステータスインジケーターの点灯状態によって、システムの状況を確認できます。

システムの起動中、モニターより起動音が再生され、Bose®ロゴと進捗バーが表示されます。

注記:

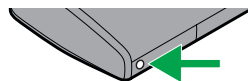
- システムを起動した時、CATVチューナーまたはBS/CSチューナーが自動的に選択され、その電源がオンになります。
- 電源オフの状態では、システムの電力消費量は低く抑えられています。そのため、システムの起動には数秒かかる場合があります。

システムの電源をオフにするには、リモコンの電源ボタン ⏻ を押します。同時に接続機器の電源もオフになります。システムは、消費電力を抑える節電モードに移行します。

節電モード

節電モードでは、システムの消費電力を最小限に抑えることができます。

システムを節電モードに切り替えるには、コンソールのシステムステータスインジケーターが赤またはオレンジに変わるまで、電源ボタン ⏻ を10秒間長押しします。節電モードは、インジケーターの色によっていくつかのタイプに分かれています。次の表を参照してください。

コンソールのシステムステータスインジケーター

コンソールのシステムステータスインジケーター	状況
消灯	システムがオフです。
緑の点滅	起動中。
緑	オン。機器を使用できます。
オレンジ	システムを終了中、またはiPodまたはiPhoneを充電中。システムの電源はオフで節電モードで動作しています。iPodまたはiPhoneをドックで充電しています(ドックはボーズから購入できます)。

モニターのステータスインジケーター

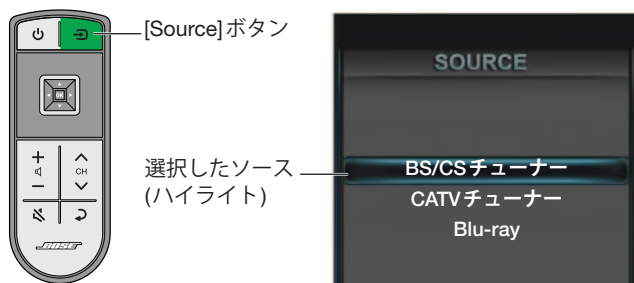
モニターのステータスインジケーター	状況
緑の点滅	起動中。
緑	ビデオミュート(18ページを参照)。
赤の遅い点滅	モニターの電源未接続。コンソールの電源接続済み。
電源復旧まで、赤から緑への遅い点滅	エラーにより、システムの電源は10秒後にオフ。引き続き問題が発生する場合は、ユーザーサポートセンターまでお問い合わせください。

外部機器を選択する

テレビ画面の[SOURCE]リストから、CATVやBS/CSチューナー、Blu-ray Disc™プレーヤー、DVR、DVD、CDプレーヤーなど、システムに接続されたAV機器を選択できます。

外部機器を選択するには:

1. リモコンの[Source]ボタンを押して、画面に[SOURCE]リストを表示させます。

   選択されている機器はハイライト表示されています。

2. [Source]ボタンを押し続けると、ハイライト部分がリストの下に移動します。選択する機器に合わせてください。

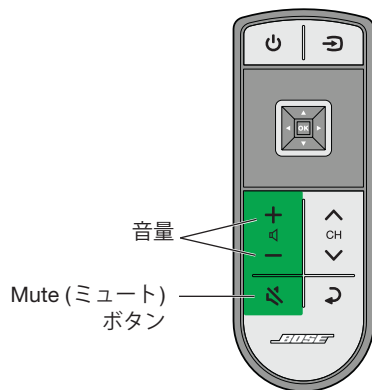
   または

   ナビゲーションパッドの上 ▲ 下 ▼ ボタンを押して、機器リストのハイライト部分を上または下に移動することもできます。[**OK**]を押すと、ハイライト表示されている機器が選択されます。

注意: [SOURCE]リストに表示される項目は、セットアップ中にシステムに接続した外部機器の種類によって異なります。

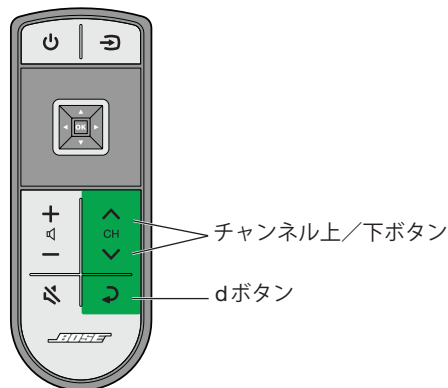
音量を調節する

音量上 ＋ /下 ー ボタンを押すと、音量を調節できます。

システムを一時的に消音するには、ミュートボタン を押します。ミュートボタンをもう一度押すと音量が元に戻ります。

チャンネルを替える

チャンネル上 /下 ボタンを押すと、1チャンネルずつ前後に移動します。

d ボタン を押すと、デジタルテレビなどのデータ放送画面を表示します(機器によっては操作できない場合があります)。

特定のチャンネル番号を選択する方法は、「チャンネル番号を入力する」(16ページ)をご参照ください。

操作フレームについて

操作フレームには、選択している外部機器で使用する機能またはボタンが表示されます。外部機器に付属するリモコンのボタン操作が、この操作フレームから実行できます。

* これらの機能の操作方法については、選択した外部機器に付属する取扱説明書を参照してください。

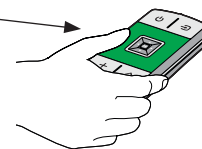
注意: 操作フレームの表示内容は外部機器ごとに変更できます「操作フレームをカスタマイズする」(29ページ)をご参照ください。

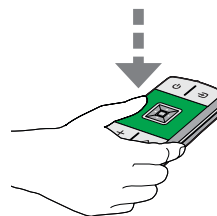
外部機器の操作ボタンを選択する

1. クリックパッドの上に親指を置くと、操作フレームが表示されます。このフレームから、使用する機器の操作ボタンを画面で選択できます。

操作フレーム

注意: 操作フレームが表示されると、テレビの画面はフレームの内側に縮小されます。

2. クリックパッドの上で親指をスライドして、使いたいボタンを選びます。

クリックパッド上の親指の位置に合わせて、ハイライト表示される機能ボタンが替わります

3. 使いたいボタンを選んだら、そのままカチッと音がするまで押します。

チャンネル番号を入力する

外部機器の赤外線(IR)リモコンに数字キーがある場合､操作フレームの上側に番号ボタンが表示されます。この番号ボタンは、主にテレビチューナーのチャンネル番号を入力するために使用するものですが、DVDプレーヤーのチャプター番号やCDプレーヤーのトラック番号を選択する場合にも使用できます。

番号を入力すると、画面上部に番号ウィンドウが表示されます。番号ウィンドウに表示される番号は、出荷時に最大3桁に設定されています。テレビチューナーで使用するチャンネル番号の桁数が異なる場合は、[Options]メニューから変更できます(24ページ)。たとえば、最大9999までのチャンネル番号を入力する必要がある場合は、桁数を4に変更します。チューナーのチャンネルが99までの場合は、桁数を2に変更します。

チャンネル番号を入力するには:

1. リモコンのクリックパッドを使用して、チャンネル番号の1桁目を選択します。

画面上の番号ウィンドウに1桁目が表示されます。

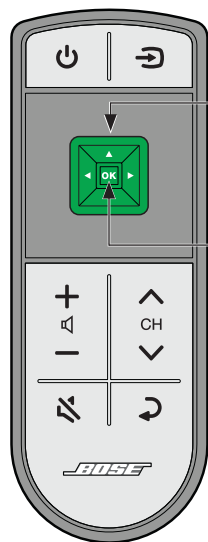
2. 番号を順に選択して、番号ウィンドウに追加します。

3. 最後の桁を選択して、番号ウィンドウの数字が左に移動すると、機器のチャンネルが選択されます。

または

リモコンの[**OK**]ボタンを押して、番号を直接送信します。

外部機器の番組表とメニューを操作する

CATVやBS/CSチューナー、AV機器など多くの外部機器には、メニューや番組表が用意されています。操作フレームの[番組表]ボタンを使用して、これらの番組表を操作できます。ナビゲーションパッドを使用して、メニューや番組表の項目を選択できます。

1. 操作フレームの[**番組表**]または[**メニュー**]ボタンを選択します。選択した機能が操作フレーム内に表示されます。

   番組表の例

2. クリックパッドから親指を放すと、操作フレームの表示が消えます。その後、ナビゲーションパッドを使用して、画面上でハイライト表示されている項目を移動して選択します。
3. [**OK**]ボタンを押して、項目を選択します。

画面モードを変更する

操作フレームの画面モードボタンを選択して、映像の画面モードを表示します。リモコンのナビゲーションパッドの左右ボタンを押して、選択する画面サイズをハイライト表示します。モードを選択すると、画面はすぐに変更されます。

標準　オリジナル映像をそのまま表示します。

オートワイド　画面を切り取らずに幅いっぱいに表示します。

ストレッチ1　映像を中央から均等に引き伸ばします。

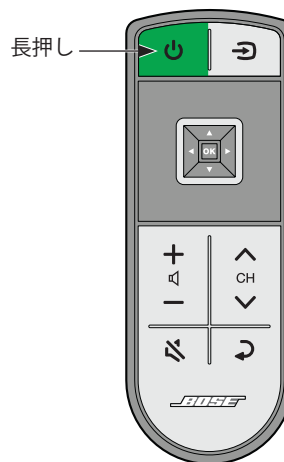
ストレッチ2　映像を中央からの距離に比例して引き伸ばします。端に近いほど拡大率が高くなります。

ズーム　映像を拡大します(ナビゲーションパッドの上下ボタンを押すと、画面が上下に移動します)。

グレイバー　標準サイズ(4:3)の映像の左右に灰色の縦帯を付加して表示します。

ビデオミュート

映像を表示せずに音楽だけ楽しむ場合や、節電のため、画面をオフにすることができます。

画面をオフにするには、画面が消えるまでリモコンの電源ボタン ⏻ を押し続けます。

画面が消えている間、モニターのステータスインジケーターは緑で点灯します。

画面を表示するには、電源ボタン ⏻ を短く押します。

注意: オーディオ機器を選択すると、節電と画面の焼き付き防止のため、自動的にスクリーンセーバーモードに移行します。リモコン上のいずれかのボタンを押すと、画面表示が元に戻ります。

iPodやiPhoneの音楽や動画を再生する

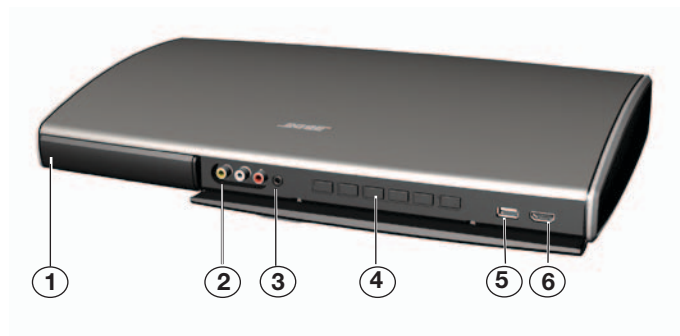
Bose® VideoWave® IIIでは、30ピンのドック(ボーズから購入できます)に接続したiPodやiPhoneの音楽や動画を再生できます。

次の例のように、iPodまたはiPhoneメニューとプレイリストが画面の左側に表示され、再生中のトラックが右側に表示されます。

iPodやiPhoneを操作する

リモコンのナビゲーションパッドと操作フレームの再生コントロールを使用して、iPodを操作します。

リモコンのナビゲーションパッド	▲	上のメニュー項目へ移動(長押しでスクロール)
	▼	下のメニュー項目へ移動(長押しでスクロール)
	◀	上位メニューへ移動。ビデオ再生中は、一時停止してメニューを表示
	▶	下位メニューへ移動
	OK	下位メニューへ移動
画面上の操作フレーム	Page ↑	上のページへ移動
	Page ↓	下のページへ移動
	▶	再生
	❚❚	一時停止
	■	停止
	▶❚	次のトラックまたはオーディオブックマークへ移動
	❚◀	前のトラックまたはオーディオブックマークへ移動
	▶▶	早送り
	◀◀	早戻し
		シャッフルモード

コンソールの機能

① **コンソールのシステムステータスインジケーター**

消灯 ....システムがオフです。

緑の点滅..............起動中。

緑の点灯..............オン。機器を使用できます。

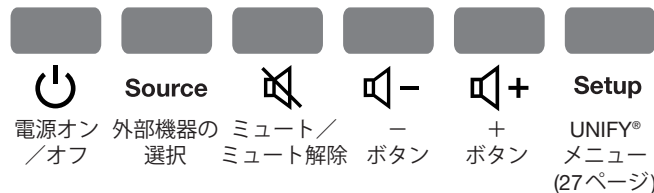
オレンジ..............システムを終了中、または電源がオフでiPodまたはiPhoneを充電中です(ドックはボーズから購入できます)。

② **前面アナログAV入力**

ビデオカメラなどのAV機器を接続できます。

③ **ヘッドホン出力**

3.5 mmステレオミニプラグ付ヘッドホンを接続できます。音量は音量上/下ボタンで調整します。

④ **電源および操作ボタン**

⑤ **前面USB入力**

USBドライブに保存された写真ファイルを表示するときに使用します。また、システムソフトウェアを更新する際にも使用します。

⑥ **前面HDMI入力**

ビデオカメラなどのHDMI機器を接続するときに使用します。

写真を表示する

USB ドライブに保存された写真ファイル(.jpgまたは.jpeg形式)を表示できます。

USB ドライブをコンソール前面のUSB入力に差し込みます。USB ドライブは、差し込まれるまで[SOURCE] リストに表示されません。

リモコンの[Source]ボタン を押して、[USB]を選択します。USBインターフェイスが表示されます。

USBインターフェイス

[USB]を選択すると、画面左側に上からフォルダーが表示され、フォルダーの下に画像ファイルの一覧が表示されます。フォルダーを選択すると、その中に保存されている写真が表示されます。

写真表示の操作

リモコンのナビゲーションパッドと操作フレームの機能を使用して、写真を選択して表示します。

リモコン	▲	上のメニュー項目へ移動(長押しでスクロール)
	▼	下のメニュー項目へ移動(長押しでスクロール)
	◀	上位フォルダーへ移動、またはスライドショーを終了してフォルダー表示へ戻る
	▶	下位フォルダーへ移動
	OK	フォルダーを選択している場合は下位フォルダーへ移動、 写真ファイルを選択している場合はスライドショーを表示
画面上の操作フレーム	Page ↑	9つ前のファイルへ移動
	Page ↓	9つ後のファイルへ移動
	EXIT	スライドショーを終了してフォルダー表示へ戻る
	▶	選択したフォルダーのスライドショーを表示
	❚❚	スライドショーを一時停止
	■	スライドショーを終了してフォルダー表示へ戻る
	▶❚	次の画像を表示
	❚◀	前の画像を表示

前面アナログAV入力に機器を接続する

コンソールの前面にあるアナログAV入力またはHDMI入力を使用して、デジカメやビデオカメラなどを一時的に接続できます。

1. コンソールの前面にあるアナログAV入力またはHDMI入力に機器を接続します。機器を接続するまでは、[SOURCE]リストに表示されません。
2. リモコンの[Source]ボタンを 押して、[A/V入力(前面)]または[HDMI入力(前面)]を選択します。

アナログAV入力

コンポジット映像信号と左右の音声出力を使用する機器を接続します

HDMI入力

HDMI出力のある機器を接続します

前面アナログAV入力に接続した機器を操作する

クリックパッドリモコンでは、前面アナログAV入力またはHDMI入力に接続した機器を操作することはできません。機器の操作ボタンまたはリモコンを使用してください。

機器およびシステムオプションの変更

このセクションでは、システムと外部機器の一部の操作に関連するオプション設定について説明します。

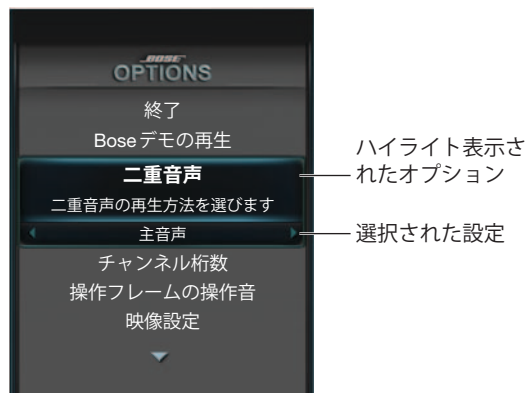
ほとんどの場合、工場出荷時の設定をそのままご利用いただけますが、必要に応じて設定を変更することもできます。設定の変更方法については、以下のページで説明します。

ご不明な点は、ユーザーサポートセンターへお問い合わせください。連絡先はシステムに付属のリストを参照してください。

設定を変更する

[OPTIONS] メニューを使用して、機器に関する設定とシステム設定を変更できます。メニューのリストに表示される項目は、選択している機器によって異なります。

1. クリックパッドにタッチして、操作フレームを表示します。
2. 操作フレームの右下にある [OPTIONS] を選択して、メニューを表示します。

   次の図は、AV 機器の [OPTIONS] メニューの例です。

3. ナビゲーションパッドの上下ボタンを使用して、変更するオプションをハイライト表示します。
4. ナビゲーションパッドの左右ボタンを使用して、設定を変更します。
5. 変更を保存してメニューを終了するには、[**OK**] ボタンを押すか、[OPTIONS] メニューの [終了] を選択します。

選択可能な設定

[OPTIONS] メニューでは、以下の項目を設定できます。メニューに表示されるオプションの項目数は機器によって異なります。メニューの中で星印 (*) が付いている項目は工場出荷時の設定です。

終了

メニューを終了して、通常表示に戻ります。この機能はメニューの上および下に表示されます。

Bose® デモの再生

ボーズ社が制作したデモ映像を再生します。再生が終了すると、元の機器の画面に戻ります。

二重音声

副音声プログラムなど、別のオーディオトラックがある場合はそれを選択します。

主音声 (工場出荷時の設定) .... 主音声を選択します。

副音声 .... 副音声を選択します。

主＋副 .... 主音声と副音声を選択します。

二重音声なし .... 副音声を選択できない場合、自動的に選択されます。

チャンネル桁数

チャンネル番号表示ウィンドウをオフにするか、または選択した機器で使用する番号の最大桁数を指定します。番号表示ウィンドウの大きさは、機器で使用する最大桁数によって決まります。

2桁....................................2桁入力すると番号が設定されます(00 ～ 99)。

3桁(工場出荷時の設定).....3桁入力すると番号が設定されます(000 ～ 999)。

4桁....................................4桁入力すると番号が設定されます(0000 ～ 9999)。

切.......................................番号は1桁ずつすぐに送信されます。

操作音

クリックパッド上で親指をスライドしたときや、ハイライト表示の項目を選択したときに操作音を鳴らします。

入(工場出荷時の設定) ... クリックパッド上の親指の動きに合わせて操作音が鳴ります。

切.................................... クリックパッドの操作音は鳴りません。

映像設定

お部屋の明るさに合わせて映像の明るさを設定します。

シネマ..................................室内光が特に暗い場合に適しています。

標準(工場出荷時の設定)....通常の室内光の場合に適しています。

ブライト .... 室内光が特に明るい場合に適しています。

映像基本設定

室内光に合わせた映像設定は、出荷時に最適な状態に調整されています。

		工場出荷時の設定		
	範囲	シネマ	標準	ブライト
明るさ	0 ～ 100	23	23	23
コントラスト	0 ～ 100	64	64	64
カラー	0 ～ 100	60	62	62
色合い	0 ～ 100	50	50	50
シャープネス	1 ～ 3	2	2	2
AVモニターバックライト	0 ～ 10	3	5	8
色温度	1 ～ 3	3	3	3

映像設定をお好みの状態に調整するには:

1. [OPTIONS]メニューの[映像設定]をハイライト表示します。
2. リモコンの[**OK**]ボタンを長押しすると、プリセットの映像基本設定画面が表示されます。
3. リモコンの**ナビゲーションパッドの上下ボタン**を押して、変更する値を選択します。
4. **左右ボタン**を押して、値を調整します。
5. [**OK**]ボタンを押して[OPTIONS]メニューに戻ります。

ガンマとカラー調整

注意: ガンマとカラー調整はサービス担当者にお任せいただくことをおすすめします。

		工場出荷時の設定		
	範囲	シネマ	標準	ブライト
ガンマ	-3 ～ +3	0	0	0
Rゲイン	0 ～ 100	100	100	100
Gゲイン	0 ～ 100	100	100	100
Bゲイン	0 ～ 100	100	100	100
Rカットオフ	0 ～ 100	0	0	0
Gカットオフ	0 ～ 100	0	0	0
Bカットオフ	0 ～ 100	0	0	0

ガンマとカラーを調整するには:

1. 25ページの説明に従い、映像基本設定画面を表示します。
2. [**OK**]ボタンを長押しすると、映像基本設定とガンマとカラー調整の設定が切り替わります。
3. リモコンのナビゲーションボタンを使用して調整します。

動き補正

スポーツ番組やアクション映画などの動きの速い映像がスムーズで鮮明に表示されるように調整します。

なし .... 動き補正を行いません。

低... 最小限の動き補正を行います。

デフォルト(工場出荷時の設定)... 標準的な動き補正を行います。

高 .... 最大限の動き補正を行います。

注意: 動き補正を適用すると、映画などの人物や物体の動きが自然に表現されますが、作品に表現されているとおりの映像を楽しむには、動き補正を「なし」に設定してください。

初期設定

映像設定を出荷時の値に戻します。

システムの自動オフ

リモコンボタンの操作が4時間以上行われない場合に、システムの電源を自動的にオフにする機能を切り替えます。

有効(工場出荷時の設定)....... システムの電源を自動的にオフにします。

無効 .... 自動オフ機能を使用しません。

UNIFY®テクノロジーについて

Unify®テクノロジーは、画面上の指示を通してシステムの設定手順をご案内します。ケーブルと入力端子を正しく選択し、接続した機器を使用できるようにクリックパッドリモコンをプログラムするための便利な機能です。

初期設定の終了後は、いつでもUNIFYメニューを表示させシステムの設定変更が行えます。

UNIFY メニューについて

UNIFYメニューを表示するには:

1. コンソール前面の[Setup]ボタン(20ページ)を押して、UNIFYメニューを表示します。
2. リモコンのナビゲーションパッドを使用して、設定する機能をハイライト表示します。
3. リモコンの[**OK**]ボタンを押して、機能を有効にします。
4. 最後にメニューの下の[UNIFYの終了]を選択します。

注意: UNIFYメニューを終了するか、選択した機能をキャンセルするには、リモコンの[Source]ボタンを押すか、コンソールの[Setup]ボタンを押します。

UNIFY メニュー項目

初期設定を再開

この機能は､初期設定が完了していない場合にのみ選択できます。この機能を選択すると、前回途中まで行い一時中断したUnify®の設定手順を再開させます。

初期設定を最初からやり直し

この機能は､初期設定が完了していない場合にのみ選択できます。この機能を選択すると､初期設定の手順を最初からやり直します。

言語

この機能を選択すると、画面表示の言語を選択できます。

ADAPTiQ®

ADAPTiQを選択すると、システムの音声出力をお部屋の環境に合わせて最適化する音場補正機能を実行します。

Bose®デモの再生

ボーズ社が制作したデモ映像を再生します。再生が終了すると、Unify®メニューの画面に戻ります。

システム設定の変更

接続機器の設定

接続機器の設定項目は、初期設定の際に接続機器に割り当てた名前が付いてメニューに表示されます。たとえば、[CATVチューナーの設定]、{BS/CSチューナーの設定]、[DVDプレーヤーの設定]などのように表示されます。この機能は、初期設定が完了していると選択できます。

この機能では、次の操作を実行できます。

- 名前の変更
- リモコンの設定
- リモコンの手動設定
- 操作フレームのカスタマイズ(「操作フレームをカスタマイズする」(29ページ)を参照)
- 接続機器の電源
- この機器の取り外し
- 接続の変更

新たな機器の追加

この機能では、新しい機器をシステムに接続する手順が画面上に表示されます。ケーブルと入力端子を正しく選択し、機器を操作できるようにクリックパッドリモコンをプログラムします。この機能は、初期設定が完了していると選択できます。

アップデート

この機能では、VideoWave entertainment systemのシステムソフトウェアの更新手順が画面上に表示されます。インターネットに接続されているコンピュータを使用して、ボーズ社のサイトで公開されているアップデートファイルを、システムに付属のUSBドライブにダウンロードします。必ず、VideoWaveモニターに表示される手順に注意して従ってください。

学習モード

この機能では、VideoWaveシステムを他社製の学習リモコンで操作するために、リモコンをプログラムする方法が表示されます。このモードを選択すると、クリックパッドリモコンの各ボタンを押すたびに、VideoWaveシステムから赤外線(IR)コードが送信されます。他社製リモコンは、このコードを記録することによってシステムの操作方法を学習します。VideoWaveモニターに表示される手順に従ってください。このモードを終了するには、コンソールの[Setup]ボタンを押します。この機能は、初期設定が完了していると選択できます。

Unify®の終了

Unify®メニューを終了して、最後に選択していた機器の画面に戻ります。

操作フレームをカスタマイズする

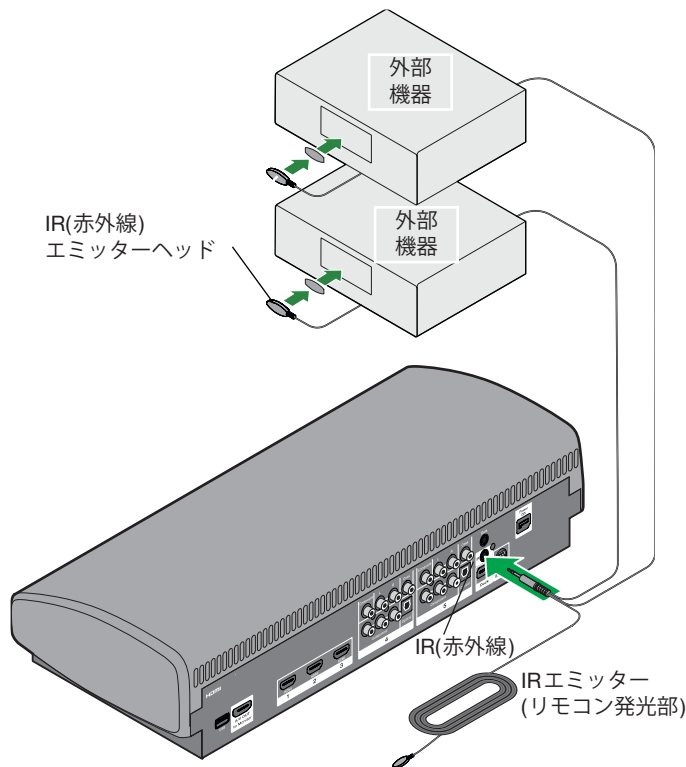
この機能を使用すると、外部機器ごとに操作フレームの表示内容を選択できます。

1. UNIFY®メニューから、カスタマイズする外部機器の機能を選択します。
2. 右側の列から、[操作フレームのカスタマイズ]を選択します。カスタマイズメニューが表示されます(下図の例を参照)。
3. リモコンのナビゲーションパッドを使用して、選択した機器の操作機能を選択するか、削除します。
   - 列を移動するには ◀ または ▶ ボタンを押します。
   - 列の項目を選択するには ▲ または ▼ ボタンを押します。
   - 操作機能の横にあるチェックマークをオン／オフするには、**[OK]**ボタンを押します。チェックマークを付けた機能が操作フレームに追加されます。
4. 現在の設定を保存するには、[**保存**]を選択します。

IR(赤外線)エミッターを取り付ける

テレビチューナーやDVDプレーヤーなどの外部機器を操作するため、コンソールはそれらの機器に対して赤外線(IR)信号を送信できるように設計されています。ただし、外部機器側でこの信号を十分に受信できない場合、正常な操作が行えないことがあります。その場合は、次の手順に従って、付属のIR(赤外線)エミッターケーブルを取り付けてください。IRエミッターケーブルは最大3台の機器まで対応しています。

1. IRエミッターケーブルをコンソールのIR端子に接続します。
2. エミッターヘッドの平らな側を各機器の前面パネルに向けて貼り付けます。
3. エミッターヘッドを機器に貼り付けるには、付属の粘着パッドを使用してください。

注意: 接続機器を正しく操作するには、IRエミッターヘッドの位置調整が必要となる場合があります。

他社製リモコンを使用してシステムを操作する

CATVチューナーのリモコンなど、他社製リモコンをプログラムして、VideoWave® III entertainment systemを操作することができます。

CATVチューナーの取扱説明書のリモコンの項目を参照し、リモコンでテレビを操作できるようにプログラムする手順に従ってください。機器コードの入力が必要な場合は、「0000」と入力してください。

プログラムが完了すると、電源のオン／オフ、音量、入力機器の選択など、基本的な機能を他社製リモコンで操作できるようになります。

他社製リモコンの機能　VideoWaveシステムの機能

故障かな?と思ったら

トラブル	対処方法
クリックパッドリモコンを初めて使用したとき、システムが応答しない	• コンソールの電源が入っていることを確認してください。コンソールのシステムステータスインジケーター (11ページ) を確認してください。 • リモコンのいずれかのボタンを押すたびに、コンソールのシステムステータスインジケーターが点滅することを確認します。ボタンを押すたびにインジケーターが点滅します。点滅しない場合は33ページを参照してください。 • リモコンに正しく電池が装着されていることを確認して、必要に応じて交換してください。(34ページを参照)。 • システムをリセットしてください。「システムをリセットする」(33ページ) を参照してください。
コンソールに接続した機器をリモコンで操作できない	• 機器を再セットアップしてください。コンソールの[Setup] ボタンを押し、接続した機器の設定(リモコンの設定) を選択して、画面に表示される手順に従って機器を再セットアップします。 • システムソフトウェアのアップデートが必要な場合があります。33ページを参照してください。 • IR (赤外線) エミッターを取り付けます。「IR(赤外線) エミッターを取り付ける」(30ページ) を参照してください。
システムがまったく動作しない	• モニターと電源アダプターが、壁のコンセントに正しく接続されていることを確認してください。 • [SOURCE] リストから接続機器を選択します(「外部機器を選択する」(12ページ) を参照)。 • リモコンをペアリングします。「リモコンとコンソールをペアリングする」(33ページ) を参照してください。 • システムをリセットしてください。「システムをリセットする」(33ページ) を参照してください。
音が出ない	• 音量を上げてください。 • コンソールの入力接続をチェックし、機器を正しく選択していることを確認してください。 • 選択した機器の電源が入っていることを確認してください。 • 音声入力用に同軸デジタルケーブルと光デジタルケーブルを使用している場合、コンソールの同じ入力部に2本を同時に接続していないか確認してください。 • モニターケーブルがコンソールの[A/V OUT to Monitor] 端子にしっかりと接続され、反対側がモニターにしっかりと接続されていることを確認してください。詳細については「①設置ガイド」をご参照ください。 • システムをリセットしてください。「システムをリセットする」(33ページ) を参照してください。
同軸デジタル音声入力で音声が断続的に途切れる	• 同軸デジタル音声入力には、システムに添付されているコンポジット映像ケーブルをお使いください。「接続機器の設定」(28ページ) を参照してください。
映像の画質を調整したい	• [OPTIONS] メニューから調整できます。「映像設定」(25ページ) を参照してください。
一部の機器からブーンという大きな雑音やノイズが入る	• システムを別のコンセントに接続してみます。 • 他の電気製品などから電気的な干渉が発生していないか、ご確認ください。

注意: iPodなどのオーディオ機器を選択すると、画面の焼き付き防止のため、自動的にスクリーンセーバーモードに移行します。リモコン上のいずれかのボタンを押すと、画面表示が元に戻ります。

リモコンとコンソールをペアリングする

1. リモコンを持ち、コンソールに近付けます。
2. コンソールのミュートボタン を押しながら、同時にリモコンの[**OK**]ボタンを5秒間押し続けます。ペアリングが完了すると、システムステータスインジケーターが点滅します。
3. リモコンのいずれかのボタンを押すたびに、コンソールのシステムステータスインジケーターが点滅することを確認します。

システムをリセットする

1. コンソールの電源ボタン を、システムステータスインジケーターが消灯するまでおよそ5秒間長押しします。
2. 電源ボタンから指を放すと、システムが再起動します。コンソールのシステムステータスインジケーターが緑に点滅し、使用可能になると緑の点灯に変わります。
3. リセット後もシステムがリモコンに反応しない場合は、このページの「リモコンとコンソールをペアリングする」の手順に従います。

システムのアップデートを実行する

ボーズから提供されるシステムソフトウェアの更新をインストールするには、次の手順に従います。

1. コンソール前面の[**Setup**]ボタンを押して、UNIFY®メニューを表示します。
2. リモコンのナビゲーションパッドを使用して、[アップデート]を選択します。
3. 画面に表示される手順に従います。

お問い合わせ先

故障および修理のお問い合わせ先

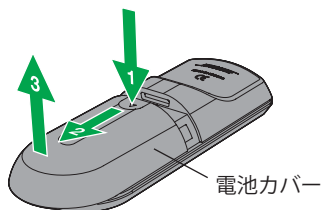
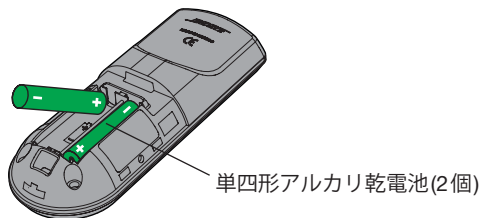
ボーズ株式会社　サービスセンター
お客様専用ナビダイヤル 0570−080−023
PHS、IP電話からは、Tel 03-5489-1124へおかけください。
〒206-0035 東京都多摩市唐木田1-53-9
唐木田センタービル

製品等のお問い合わせ先

ボーズ株式会社　ユーザーサポートセンター
お客様専用ナビダイヤル 0570−080−021
PHS、IP電話からは、Tel 03-5489-0955へおかけください。

電池を交換する

リモコンの電池を交換する必要がある場合は、モニターにバッテリー容量低下を示すメッセージが表示されます。電池を交換する場合は、必ず2本とも新しいものに交換してください。

1. 電池カバーを外して、使用済みの電池を取り出します。

2. 電池ケースに表示されている+と−の向きと乾電池の+と−の向きを正しく合わせて、単四形アルカリ乾電池2本を入れます。

3. 電池カバーを元通りにスライドして閉じます。

お手入れについて

製品の外装を清掃する際､特にモニターの画面を清掃する場合は､必ず次の指示に従ってください。

モニターの画面を清掃する

画面の清掃を行う前に、必ず推奨品のクリーニングクロスとクリーニング液を用意してください。

クリーニングクロスについて

モニターの画面の清掃には、マイクロファイバー製の両面クロスをおすすめします。このクロスは非常に柔らかく、粘着性を持たず、静電気も発生しません。画面を清掃する前に、必ずクロスからテープなどを外してください。テープの素材により、画面の表面に傷を付けるおそれがあります。

クリーニング液について

液晶画面専用のクリーニング液をお使いください。クリーニング液は、家電量販店などでお求めください。

注意:

- モニターとモニターの画面には必ず専用のクリーニング液を使用してください。モニター用でないクリーニング液を使用すると、液晶画面に傷が付いたり、外装仕上げがはがれてしまうおそれがあります。
- アセトン、アルコール、エチレン酸、アンモニア、塩化メチルなどを含むクリーニング液は絶対に使用しないでください。

警告: 感電を避けるため、濡れた手で電源コードの抜き差しは行わないでください。

注意:

- モニターを清掃する際は、液晶画面を押さないでください。画面を押すと、表面への傷付きや破損のおそれがあります。
- ペーパータオルや研磨パッドなどを使用してモニターを清掃しないでください。これらの素材は液晶画面を傷つけるおそれがあります。
- クリーニング液をモニターの画面やキャビネットに直接吹き付けないでください。画面やキャビネットに液を直接吹き付けると、製品が損傷するおそれがあります。クリーニング液は必ずマイクロファイバー製クリーニングクロスに付けてからご使用ください。

軽い汚れを落とす場合

1. システムの電源をオフにし、モニターの電源コードを壁のコンセントから抜きます。
2. 清潔で乾いたマイクロファイバー製クロスを使用して、モニターの画面をできるだけ力を入れずに静かに拭いてください。

目立つ汚れや染みなどを落とす場合

1. システムの電源をオフにし、モニターの電源コードを壁のコンセントから抜きます。
2. 研磨剤が含まれていないクリーニング液をマイクロファイバー製クロスに少し吹き付けます。
3. モニターの画面をできるだけ力を入れずに静かに拭きます。
4. モニターが完全に乾いてから、電源コードを接続してシステムを起動します。

製品本体を清掃する

- 必ず乾いた柔らかいクロス(布)を使用して、製品本体を拭いてください。
- 溶剤、化学薬品、スプレーなど、液晶画面専用のクリーニング液以外のものを使用しないでください。
- 開口部から液体や異物が入らないようにしてください。
- 換気孔から圧縮空気を吹き付けたり、掃除機で吸い込んだりしないでください。

保証

保証の内容および条件につきましては、付属の保証書をご覧ください。

仕様

リモコン(動作確認用電池を装着済み)

周波数: 2.4 GHz
使用範囲: 10 m(33 ft.)

コンソール用電源アダプターの電源範囲

AC入力: 100V〜 50/60Hz、1.0A
DC出力: 12V ⎓ 35W (最大)

モニターの定格電源

AC 入力: 100V〜 50-60Hz 250W

Licensing information

This product contains one or more free or open source software programs originating from third parties and distributed as part of the STLinux software package. Visit www.stlinux.com/download for further details. This free and open source software is subject to the terms of the GNU General Public License, GNU Library/Lesser General Public License, or other different and/or additional copyright licenses, notices and disclaimers. To understand your rights under these licenses, please refer to the specific terms of the licenses, notices, and disclaimers, which are provided to you in an electronic file, named “licenses.pdf,” located within the product’s control console. To read this file, you will need a computer with a USB port and a software program that can view .pdf files. To download “licenses.pdf” from your product’s control console:

1. Press and hold the Setup button on the front of the control console to display the System Information screen.
2. Insert a USB drive (there should be one included in your system package) into the USB input on the front of the control console.
3. Press the OK button on the remote control to copy the file to the USB drive. This download process should be completed within 30 seconds. You may then remove the USB drive.
4. To read the file “licenses.pdf,” plug the USB drive into a computer with a USB port, navigate to the USB root directory, and open “licenses.pdf” with a software program that can view .pdf files.

To receive a copy of the source code for the open source software programs included in this product, please mail your written request to: Licensing Manager, Mailstop 6A2, Bose Corporation, The Mountain, Framingham, MA 01701-9168. Bose Corporation will distribute such source code to you on a disc for a charge covering the cost of performing such distribution, such as the cost of media, shipping, and handling. All of the above referenced licenses, notices, and disclaimers are reproduced and available with such source code. This offer is valid for a period of three (3) years following the date of distribution of this product by Bose Corporation.

Product data logger

The VideoWave® system features a product data logger that is designed to help Bose better understand product usage and performance over time. The product data logger records certain technical data and usage history, including but not limited to volume levels, on/off data, user settings, source inputs, temperature and power output, and setup data. We may use this data to provide you with better service and support on your VideoWave system and to improve product design in the future. Special equipment is required to read the data stored by the product data logger and such data can only be retrieved by Bose if your VideoWave system is returned to Bose for service or as returned merchandise. The product data logger does not collect any personally identifiable information about you and does not record title, genre or other information about the media content you access while using your VideoWave system.